

テーマ『乾物の状態変化を観察』

《テーマ設定理由》

普段目や口に入っている食べ物。食事の際にも手で触る姿があったため、単体でその物を知ったりどうして膨らむのかなど、子ども達に興味や発見になってほしいため

《環境設定・準備したもの》

お麴、高野豆腐、容器、お湯

《活動スケジュール》

① 麴	10月 15日
② 高野豆腐	10月 15日

《振り返り・気付き》

普段口に入っているものを目で見て確認し、そこから子どもたちの興味が高まり触ってみたい！に繋がる。
食材を触ってみて、硬さや軟らかさなどの変化を身近に感じることで、どのような料理に入る食べ物なのか？などイメージや想像力が広がり、食材を知るきっかけにもなった。手先を使って自由にちぎって形を作ってみたり、見立て遊びを楽しむ子どももいた。
この経験からごっこ遊びにも繋げ、友達同士で会話が広がったり、食べる事への意欲が育っていったら良いと思う。
今回は食紅で色を付けなかったが、自然な色から子どもたちが何を想像して作っていくのか知っていく様子だったり、感触遊びを通して指先への発達にも促すことが出来た。

《活動内容・子どもの様子》



まずは素材の硬さや形を触ってもらいました。「これはなに〜？」「かたいね〜」などの声が聞こえてきました。味噌汁やおかずに入っていることを伝えると「美味しいよね」など思い返す場面も見られた。

お湯を入れてみると、、、少しずつ大きくなっていく麴や高野豆腐を見て「おおきくなった〜！」と見た目の変化の様子を声に出して感じていた。指先で触ってみて硬さの変化にも気が付き発見する。



高野豆腐を手でちぎり、ケーキに見立てて遊ぶ。それを見ていた隣の友達も同じようにケーキを作ろうとしている。小さくちぎった物はいちごをイメージしている様子。作りながら、友達同士で言葉のやり取りも見られていた。